

いつまでも
お元気で

長寿を祝い内閣総理大臣と町から祝詞と記念品を贈呈

敬老の日を祝い九月十七日、岩田町長が町内の満百歳をお迎えになる七名のお宅を訪問し、祝詞と記念品を贈り、長寿を祝福しました。

今年度中に満百歳をお迎えになる山田信子さん(横田)、郷原善一さん(高尾)、三澤ツネノさん(小馬木)、佐々木才さん(上阿井)、糸原マツヨさん(小馬木)、千原重子さん(亀嵩)、田部トクイさん(八川)に内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、町から祝詞と記念品が贈られました。町長からは「ご長寿おめでとうございます。これからもお体に気をつけ長生きして下さい」と言葉をかけ、長寿を祝いました。

本町の九月一日現在の高齢者数(六十五歳以上)は、五、四五八人で高齢化率は三四・六二割となっています。



▲ 100歳おめでとうございます(写真は山田信子さん・横田)



▶ 手際よく作業される会員の皆さん

島根庭園協会雲南支部の皆さんが

仁多中でボランティア作業

九月八日、島根庭園協会雲南支部の会員十五人による庭木の剪定奉仕作業が、仁多中学校で行われました。

同支部では「自治体の財政難の折、何か地域に役立つことがしたい」と平成十六年からボランティアを始めて今年で四回目となります。

同校は、開校三十四年目を迎え敷地内の「思索の森」は樹木がたくさん生い茂り、管理がなかなか行き届いていませんでした。約三時間の作業でツツジやモミジ、大きくなったカイヅカイブキなどの樹木が手際よく剪定され、それぞれの樹木の特徴を生かした形に整えられていきました。

明るく風通しの良くなった森は、今後も生徒達の憩いの場として利用されます。

暑い中、島根庭園協会の皆さんありがとうございました。

恒久の平和を願う

奥出雲町戦没者追悼式

九月十五日、奥出雲町戦没者追悼式が町、奥出雲町社会福祉協議会の主催でカルチャープラザ仁多において開催されました。

式典には、各地区の遺族会員、関係者など約二百四十名が参列し、一分間の黙祷の後、町長の式辞があり、八百九十三柱の御霊に対し出席者全員で献花を行いました。



▲ 献花をする参加者

遺族代表の井上昭さんは「先の大戦から六十二年の歳月が過ぎ、奥出雲町では八百九十三名もの尊い命が失われました。今日の平和と繁栄は幾多の尊い英霊の方々の犠牲の上に築かれていきました。戦争から得た教訓を肝に銘じ、平和を守り、国の発展に努め、二度と戦争を起こして

この追悼式を機に私たちは、平和の大切さを再認識し、心豊かに暮らせる町づくりに努めて行かなければなりません。